



防災行政無線戸別受信機の有用活用について



60代・男性

2月初旬、地域防災課より町内会の責任において、会員と区域内の非会員に対して、防災行政無線戸別受信機を配布するよう依頼がありました。

当町内会は持ち家が多い会員、すなわち高齢者の会員が多いため、

運用を図っていきますので、ご理解をお願いいたします。

〈地域防災課〉

郷土の先達、伊藤郷一氏に関する町からの資料提供に感謝



60代・男性

以前、釧路市在住の知人から、白糠町の先達である伊藤郷一氏についての質問を受けました。公民館図書室から伊藤郷一氏の著作「髭とヒューマニティ」を借用し、知人に関連する内容の情報を提供したのですが、残念ながら知人が必要としていた情報はわずかで、途方に暮れておりました。

そのような状況の中、知人は白糠町長宛に伊藤郷一氏に関する調査依頼の文書を送付したようです。結果、この調査に関する貴重な情報を提供していただき「町に対して大変感謝している」との言葉を聞きました。コロナ禍で多忙な状況にもかかわらず、しかも町民ではない依頼者に対する町の寛大な対応に、私からも深く感謝申し上げます。

乾電池を差し込む状態まで組み立てた後、2月9日から19日までの11日間で77戸を訪問し、設置と取り扱いの説明を行い、今後、防災情報を確実に取得できる喜びを語り合いました。

当に欲しい情報は「何月何日に何名の町民がワクチン接種を完了した」、あるいは「副反応が出た場合の対応など」の情報です。特に、ワクチン接種前日においては、接種に関する注意事項やワクチン接種の効果などについてのアピールを行い、より多くの町民に接種を促す手段として活用してもらいたいものです。

3月末までは試験放送として、正午や夕刻の時間を伝えるための音楽放送や、消防からの防火予防アナウンスとして利用され、4月1日からは本格的な運用が開始されました。

防災行政無線は、生きた情報をリアルタイムで提供することに意義があると思いますので、今後の有用活用を熱望しています。

お答えします

「防災行政無線は、災害時の気象情報や避難情報、防犯情報や停電・断水などの情報を速やかに提供するため」と、広報しらぬかに掲載されていきました。しかしながら、5月に起きた町内一斉停電に関する情報や暴風・波浪警報が本町に出されていた6月4日においても防災行政無線での情報提供が一切なく、放送されていたのは緊急事態宣言下における「新型コロナウイルス感染防止のお願いメッセージ」のみ、しかも数日間放送されている同内容のメッセージ。放送されていたような新型コロナウイルスに関する情報は、町広報紙や関連パンフレット、メディアなどでも入手できるものであり、私たちが本

防災行政無線「戸別受信機」の運用開始にあたりましては、町内会会員の皆さんを始めとする地域の方々のご理解とご協力により、4月から本格的に開始できましたことに深く感謝を申し上げます。また、今回、町の防災に関して貴重なご意見をいただきありがとうございます。防災行政無線からの放送は、町民の皆さんに速やかな避難行動をとっていただくため、気象警報、地震情報、避難情報、行方不明者

ところで、今回の対応の中で、

ています。

町づくりに貢献してきた多くの先達に関する情報を、私はほとんど知り得ていなかったことに嫌悪感を抱かざるを得ませんでした。政治やスポーツ、芸能、文芸など、さまざまな分野で偉業を残した多くの先達を、何かしらの方法で町民に周知することにより、郷土白糠を見つめ直し、愛郷精神の高揚等が期待できるでしょうし、また、学校教育現場での「ふるさと教育」にも大きな影響と効果が期待できるものと考えます。

また、町民の皆さんが、ふるさと「白糠」の偉人を誇りに思い、先人に対する尊敬の念を持つことで、さらに町を愛する気持ちが高めることができると思っています。しかしながら、こうした人物について語り継がれる機会は少なく、町の資料としてもほとんど残されていないのが現状です。今回の伊藤氏の件につきましては、町内にご親族がおり、快くご協力をしていただいたことから、情報を提供することができました。

そのために、町づくりに貢献してきた先達を「広報しらぬか」などで定期的に紹介するなどの試行を検討してみたいかがでしょうか。

お答えします

「『広報しらぬか』などで偉人を紹介しては」とのご意見です。

今の白糠町があるのは、まぎれもなく先人の方々の苦勞と努力のおかげであり「先人に感謝し、次世代へつなげていく」ということは、今後のまちづくりを行う上でも大変重要であるという認識をし



戸別受信機は、電波状態の良い窓際などへ設置

情報、防犯、国民保護情報（Jアラート）を速やかに、そして確実にお伝えできるようにしています。このたび整備した「戸別受信機」からの放送は「屋外スピーカー」と同様に「緊急性」のある防災情報や行政情報（断水のお知らせ）、食中毒警報、防犯情報などを同時に放送することを原則としています。

また、特にお知らせをしなければならぬ情報がある場合は、通信確認のために正午と18時に行っている定時放送（オルゴール音）と併せて、十分内容を精査して簡潔にお伝えすることとしています。今後とも、町民皆さんの安全・安心な暮らしを守るため、適切な

出身もしくは白糠町にゆかりのある人物を紹介できる方がいらっしやいましたら、情報をお寄せください。寄せられた情報をもとに「広報しらぬか」等を通して、町民の皆さんに紹介して行きたいと考えていますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

〈企画財政課〉

●偉人に関する情報をお持ちの方は、役場企画財政課地域交流係 ☎2-2171（内線236）まで連絡願います。教育、文化、スポーツ、政治、経済などから幅広く情報をお寄せください。

伊藤郷一氏

- ・明治33年9月23日、新潟県西蒲原郡内野町（現在の新潟市）生まれ。
- ・明治40年8月、北海道に渡り、小樽市色内小学校（現在は閉校）に転入
- ・明治42年3月、蘭越町昆布小学校へ転校
- ・明治45年9月、白糠村の複式小学校へ転校
- ・大正9年 北海道庁立釧路中学校卒業
- ・大正13年 旧制新潟高等学校卒業
- ・昭和2年 京都帝国大学文学部卒業
- ・昭和21年4月、戦後初の総選挙に北海道第5区より立起当選。衆議院議員当選7回。この間、農林政務次官、文化常任委員長、裁判官訴追委員長を務めた。

【著書】

- 『髭とヒューマニティ』発行：北海タイムス社
- 『嵐ヶ丘の青春』発行：一枚の絵株式会社